

問題と回答例

Q. Do you think it's good to start learning English from elementary school?

A1 上位 回答例



I think English should be start from in elementary school too. One reason, ...English is difficult.

A1 上位の特徴

1つのセンテンスを使って**簡単なアイデア**を表現することができます。



A2 下位 回答例



I think so. It in my opinion...it is good...English is taught starting from elementary school. Because...because I have one reason for this, first, it is important to know foreign culture.

A2 下位の特徴

2つのセンテンスを“because”などの**接続詞**で繋げて、**簡単なアイデア**を**シンプルな英語**で表現できます。

※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

A1 上位 → A2 下位を目指すための指導案

目標

単文の発話を、接続詞で繋げた2文の発話にする



目安時間

20分

準備物 ピクチャーカード

- 1つのカテゴリーで少なくとも4つのものを表現する。
- スポーツの場合: サッカー、野球、バドミントン、バスケットボールなど。
- 季節の場合: 4つの季節のカレンダーなど。
- できるだけ生徒になじみのあるカテゴリーを選ぶ。



ステップ

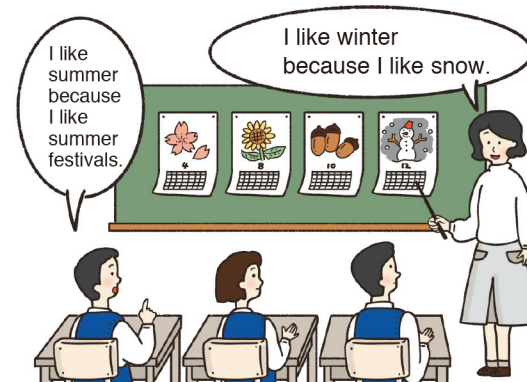
1

(全体)

- ピクチャーカードを黒板に貼る。
- “because”と板書する。
- 好きなことや好きではないことなどについてbecauseを使った英文を話す。
- 生徒にもbecauseを使った英文を口頭で共有させる。



ここでいろいろなアイデアを生徒から引き出すとよい。



ステップ

2

(グループ)

- 新しいピクチャーカードを黒板に貼る。
- 生徒を4人のグループに分け、4つのピクチャーカードの内容を使って、ステップ1でやったように好きなことや好きではないことなどについてbecauseを使った英文を口頭で共有させる。



ステップ

3

(全体)

各グループで出てきた英文を発表させ、それを板書する。



ユニークで面白いと思った英文や、上手に英語で表現できているものは特に褒めるとよい。



POINT

準備時間: カテゴリーの内容が生徒になじみのない場合は、発話の前に生徒に準備時間を与えてください。なじみのある内容の場合は、準備時間は不要です。

教師の関わり方: 英語の発話に慣れることが大切なため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。他の生徒の発話を聞く、ステップ3で教師が板書したものを見るなどして、生徒が自分の誤りに気づいて修正するという、自発的な誤り修正にとどめてください。

指導の発展方法: becauseだけではなく、soやbutを使って同じ活動ができます。